

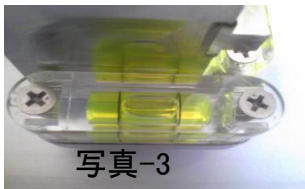
ねぶせパーフェクト較正治具、使用手順書

気泡管の狂いの確認準備

1. ねぶせパーフェクト較正治具を水平な場所へ設置する(写真-1)。



2. 手前の気泡管(写真-2、緑線円)を見ながら、奥側2つのねじ(写真-2、赤線円)を回し、左右のレベルを整えます。次に、本体脇の気泡管(写真-2、青線円)を見ながら、手前真ん中の気泡管のねじ(写真-2、紫線円)を回し、前後のレベルを整えます。レベルを取る際は、気泡管内の黒い線の中に、気泡をいれるよう(写真-3)調整します。尚、手前側左右のネジ(写真-2、黄線円)は、前後左右のレベル設定後、レベルに景況を与えない範囲、グラつき防止で、脚を延ばして下さい。

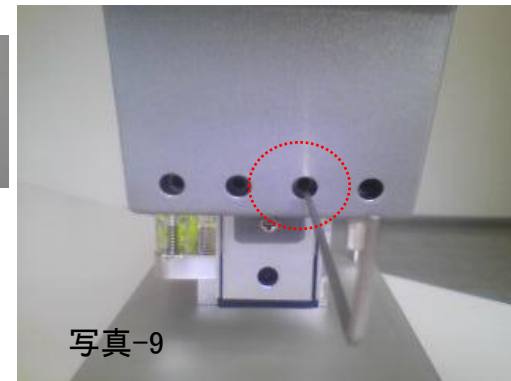
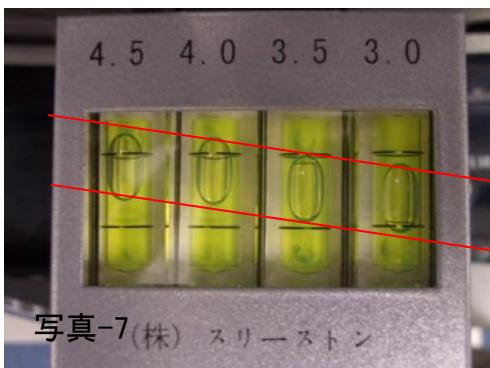


3. ねぶせパーフェクトの上部釘引っ掛け部の黒いストッパーを矢印の方向へ押し(写真-4)、較正治具の任意の傾斜の釘へ引っ掛ける(写真-5)。ねぶせパーフェクトの下部の可動脚を調整し、任意の傾斜のブロックへ脚を載せる(写真-6)。



※4の作業で、任意の傾斜における気泡管のズレ及び気泡同士の平行が取れていない場合付属のφ 1.5mmの調整六角レンチ(写真-8)を調整孔へ挿入し(写真-9)、気泡管の調整を行う。六角レンチを時計回りに回すことによって、気泡が奥へ動きます。

4. ねぶせパーフェクト真正面上部より、測定部を覗き込み、任意の傾斜の気泡が黒線内(各気泡管)に収まっているか、また、赤線の内(斜め平行線)に、気泡が一直線に並んでいるかを確認する。(写真-7、傾斜3分5厘の計測)



今回のマニュアルは、ねぶせパーフェクトの測定可能傾斜は、デフォルト(3分、3分5厘、4分、4分5厘)仕様となっております。

毎日の傾斜の確認作業を行う前に、ねぶせパーフェクト較正治具を用いて、必ず、測定器の狂いが発生していないか、目視で確認して下さい。